

## 第5回「河内長野市総合計画審議会」会議録

日時：平成27年7月3日

午後7時00分～

場所：市役所8階802会議室

### 出席委員 37名

- |            |  |
|------------|--|
| 1号委員       | 浦尾雅文、大原一郎、木ノ本寛、駄場中大介、中林圭見  |
| 2号委員（各種団体） | 上奥雅勇、上野修二、生地孝至、奥野豊、曾和孝司、西村道夫、<br>廣瀬義雄、牧田久美子、三浦佐江子、道本雅秀、山本明彦、<br>吉村禎二 |
| 2号委員（公募）   | 出水季武、黒川陞、中畔美代子、幸山善信、渋谷修、森脇稔<br>堀泰明、水谷邦子、村上靖毅                         |
| 3号委員       | 増田昇（会長）、農野寛治（副会長）、小野達也、加我宏之、加藤<br>司、嘉名光市、田中晃代、戸谷裕之、中道厚子、紅谷昇平         |
| 4号委員       | 田中伸之   |

### 欠席委員 5名

- |            |                |
|------------|----------------|
| 1号委員       | 山口健一           |
| 2号委員（各種団体） | 増田勝紀、松尾正氣、吉年正守 |
| 4号委員       | 松井芳和           |

### 事務局

総合政策部長：辻野

総合政策部副理事兼政策企画課長：小林

政策企画課参事：島田

政策企画課課長補佐：緒方

政策企画課主幹：谷之上

政策企画課主幹：尾西

### ジャパンインターナショナル総合研究所

伊藤研究員

#### 【辻野部長】

定刻になりましたので、河内長野市総合計画審議会を開催させていただきます。委員の皆様にはお忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。審議会については、本日が最終回です。前回の審議会ですべての修正内容のご承認をいただきました。その後事務局で、会長との面談を通し、前回の修正内容を踏まえ、答申内容の取りまとめを行いましたので、本日は答申内容の最終確認をいただき、市長にご答申いただく運びとなっております。議事に入る前に会議成立のご報告をさせていただきます。総合計画審議会条例第6条第2項におきまして、審議会は委員の半数以上の出席で成立することとなっております。本日ご出席いただいている方は現在34名でございます。本日は42名の半数以上の出席をいただいておりますので、審議会は成立していますことをご報告させていただきます。それでは、増田会長、議事進行、よろしくお願いします。

#### 【議長（会長）】

ご報告いただきましたように、本日は最終回です。前回、最終の意見交換をさせていただき、何点かの修正事項をいただきました。それについては、すべて基本構想に反映しておりますので、いちいち前回の案がこうで今回こう書き換えたという説明よりも一度最終の構想案について、時間がかかるかと思いますが、概要の説明をいただいて、確認したいと思います。市長も出席いただいております、概要を聞いていただくことも大事なことです、そのような段取りで進めさせていただきます。それでは、事務局から説明をお願いします。

#### 【緒方補佐】

まず、資料の確認をさせていただきます。本日の次第、それから基本構想案、資料1としまして前回の審議会の主な意見、資料2が今後の策定スケジュール、本日の答申の写しとなっております。事務連絡として前回の会議録を付けています。これにつきましては7月15日までに何かありましたら、事務局にご連絡いただきたいと思います。

それでは基本構想について、概要を説明します。第1章から6章までとなっており、第1章は総合計画の目的や構成、第2章は計画策定の背景として社会潮流や現状、市民アンケートに見る市民意識と課題、第3章は第2章を踏まえ、どのようなまちを目指していくべきかということの基本理念や将来都市像としてまとめ、第4章は計画を進める上での前提としての将来人口と都市空間の基本的な考え方、第5章は将来都市像を実現していくための政策と体系、第6章はこの計画を推進するための仕組みや体制について、となっております。

2ページは「総合計画とは」ということで、その目的を記載しております。これまで経過を踏まえた新しいまちづくりの指針とすることを書いています。

3ページは「構成と期間」ということで、3階建てになっており、一番上の基本構想が10年間、基本計画は前期5年、後期5年。その内容としては分野別計画と地域別計画になっています。その下に3年間の実施計画があり、1年ごとに見直すこととなっております。

4ページ「総合計画策定の視点」として4つの視点を入れていきます。

5～6ページには、「社会潮流」として「少子・高齢化の進行による人口減少及び人口構造の変化」「安全・安心のまちづくりへの要請」「環境保全の重要性の高まり」「経済情勢や産業構造の変化」「高度情報化の進展」「地域のつながりの重要性の高まり」「地方分権の進展と広域連携の推進」をとらえまして、新たな計画を推進していこうということになっています。

7～8ページ、「河内長野の現状」でまちの特性を記載しています。特にここで意識したのは、自然・歴史・生活環境・産業など、本市が有する豊かな資源、その魅力をどのように書き込んでいくかということでしたが、ほぼ書き込まれていると思っています。

「人口の見通し」では、市の人口は減少していきますが、10ページの図を見ていただくと後期高齢者の人口が増える予想となります。ここでは大阪府との比較も載せており、高齢化率の上昇がより顕著となっています。

11ページは「土地利用」で、農地が少しずつ減り、宅地が少しずつ増えています。土地利用の面積の推移だけでなく、空き家・空き地、耕作放棄地の増加などの土地利用の質的な変化が大事なのではないかというご意見をいただき、このような文章にさせていただきました。

12ページ、「財政の状況」では、平成16年以降、歳入は減少傾向にあります。歳出は増加が顕著で、さらに公共施設の維持、保全などの課題がでてくると言えます。財政の現状として、財政調整基金の貯金も少しずつ減っています。経常収支比率は100に近いほどゆとりがないということで、厳しい財政状況になっていると言えます。

15ページ、16ページでは、市民の方の意見を書かせていただいております。市民アンケート、市民ワークショップ、小中学生にもアンケートをとっていただき、それぞれ整理して、主だった意見を記載しています。まちづくりの方向性として、「安全・安心なまちづくり」「魅力を活かした河内長野らしいまちづくり」「市民の力を活かした協働のまちづくり」とまとめました。

17ページから河内長野市の主な課題ということで、一番大きな課題として、「人口減少と少子・高齢化」です。子どもを産み、育てる環境づくりが大事ではないかという意見を反映させていただいているところです。2点目としては、「ぬくもりのある地域社会の構築」ということで、元気な高齢者の活かし方、地域包括ケアによる高齢者を支える仕組みづくり、ひとり親家庭や社会的弱者にどう向き合っていくのかななどの意見が出ました。3つ目の「安全・安心のまちづくり」ということで、山間部が多い市の特徴から土砂災害等の課題を明確に記載させていただきました。

18ページ、「自然環境の保全とより良い環境の創造」ということで、市の特徴である豊かな森林を守ることで、潤いや安らぎを感じられる環境を創造していくことが必要としています。5点目は、「地域資源の活用と連携による産業の振興」ということで、地域の資源を活かして市内経済が循環できる仕組みが作れるかが大きな課題となっています。観光や交流人口の促進、雇用の場の確保、女性や高齢者の就労などの意見も出されました。6点目、「質の高い魅力ある都市づくり」では、公共交通などの利便性の確保や空き家・空き地対策についての意見が出されました。広域道路網の整備、生活インフラの改修も大きな課題になっています。7点目は、「学びを通じた人づくり」ということで、学びの成果をまちづくりにいかに活かしていくのかということが意見の多かったところです。8番目は「市民主体の地域づくり」ということで、自治会の加入率の

低下、地域への参画の減少など、特に若い世代の地域社会への参加について記載しています。9点目については、「協働によるまちづくり」ということで、前項目の市民主体のまちづくりとは分けて、多様な主体が公共に関わることの必要性を述べています。10点目は、「健全で効率的な行政運営と広域連携の推進」で、本市が将来に渡り発展していくためには健全で効率的な行政運営が不可欠であり、あわせて広域連携のご意見もいただきました。

20 ページは、まちづくりの基本理念を掲載しています。その中でまちづくりの視点を3つ挙げています。

21 ページ、基本理念を踏まえた上で将来の都市像を記載しております。

22 ページでは「将来人口と都市空間の基本的な考え方」について記載しています。「将来人口」については図の通り、想定10万人をキープすることとしており、その意義として、これまで整備してきた都市機能の維持などを盛り込み、どのように人口減少を止めるかについては、健康寿命の延伸や出生率の増加、定住施策を進めるなど取り組みの方向性を示しています。

23 ページ、ここは一番議論が多かったところで、「都市空間の基本的な考え方」を挙げています。本市の特性を活かして集約連携都市への再構築を行うということで、考え方をイメージしたのが24ページの下図となっています。また、25ページには、これらについて3つの目標を掲げています。

26 ページからは、将来都市像の実現に向けたまちづくりの方向性を体系立てて示しています。特に、26ページの体系図は、樹木をイメージし、まちづくりのストーリーが分かるよう工夫を行いました。

27 ページは基本目標1として「安全・安心・支えあいの暮らしやすいまち」として3つの政策を挙げています。分野別政策1として、危機管理や安全対策を記載するとともに、分野別政策2では高齢者や障がい者など福祉分野の取り組みを記載しているところです。なお、児童福祉については分野別政策4に記載しています。また、28ページ、分野別政策3、「だれもが元気で暮らせる健康づくり」キーワードとしまして「健康寿命の延伸」「健康づくりは若い頃からやらなければいけない」ということを挙げています。

基本目標2としまして、「育み・学び・思いやりの質の高いまち」として4つの政策を挙げています。28ページには分野別政策として児童福祉や子育て支援を、29ページには、分野別政策5として、学校教育や青少年の健全育成への取り組みを記載しています。また、分野別政策6として、文化、スポーツを含めた生涯学習を、分野別政策7には、人権・平和・男女協働参画について記載しています。

そして、30ページには、基本目標3「潤い・快適・活力のにぎわいのまち」として、3つの政策を挙げています。分野別政策8では、本市の魅力である豊かな自然環境の保全・活用の取り組みを記載し、分野別政策9では、「地域経済活力や生活利便性を高める都市基盤づくりとマネジメント」を、31ページには、分野別政策10として産業振興等の取り組みを掲げています。

次に、包括的政策として、「都市魅力の創造と効果的な発信」です。都市ブランドの構築と効果的な魅力発信により転入人口や交流人口を増やしていきます。単にPRだけでなく受け入れ体

制も含めて整えてほしいという意見がございました。

32 ページは、まちづくりを支える政策としまして3つの政策を挙げています。基本政策1の協働によるまちづくり、基本政策2の行政運営、そして基本政策3に財政基盤の確立としています。

最後、33 ページでは、計画推進に向けてということで、計画の進行管理の仕組みや体制について掲げています。そして、最後のページに、市民憲章を記載しています。

長くなりましたが説明は以上です。

#### 【議長（会長）】

ありがとうございました。今までの議論を押さえて説明いただいたと思っています。今日説明いただきました河内長野市第5次総合計画基本構想案を原案通り認めていただき、市長に答申させていただきますと思いますが、よろしいでしょうか。

→「異議なし」の声

ありがとうございます。皆様のご賛同をいただき、承認いただいたということでございます。長きにわたって議論させていただき、特に建設的な意見がかなり出されましたが、うまく取りまとめいただいたのではないかと思います。皆様とともに事務局にも御礼を申し上げたいと思います。答申案を取りまとめることができましたので、一旦事務局の方に進行をお渡しいたします。

#### 【緒方補佐】

ありがとうございました。それではこれから答申の準備にかからせていただきます。その間に資料2の今後のスケジュールについて説明いたします。この後、9月議会で基本構想の議決ということになりますが、並行して、現在、前期基本計画を検討しています。これには分野別、地域別があります。この案を10月頃までに作成しまして11月頃にパブリックコメント実施、12月には基本計画の策定を考えています。それに合わせて、10月を目処に実施計画を作り、最終12月には決定という運びになりますので、よろしく申し上げます。では、答申の方、よろしく申し上げます。

#### 【議長（会長）】

それでは、答申書をお渡しさせていただきます。

→増田会長による答申書の読み上げ、市長への手渡し

#### 【緒方補佐】

ありがとうございました。それでは引き続きよろしく願いいたします。

**【議長（会長）】**

今、皆様のご協力により、無事市長に答申をお渡しすることができました。重ねて御礼を申し上げます。市長も参加していただいておりますので、一言いただければと思いますが、その前に、せっかく市民参画で会議を進めてきましたので、委員から感想や今後に向けてのご意見をいただければと思っております。出席のメンバーが30数名ということで全員という時間がかかりますので、3部会に別れて参画いただいている9名の公募委員の方々から、部会ごとにコメントをいただき、部会長に総括いただきたいと思います。

まず、福祉・教育を中心にご検討いただいた第1部会からよろしくお願ひしたいと思います。

**【出水委員】**

こうあるべきだという構想の内容については異論があるわけではありませんが、実現に向けて誰が、どういう方向でどうするのかという議論が少し足りないと思います。総合計画は実現しなければならぬものです。行政はもちろん、各種団体、そして市民の立場で、それぞれが役割を分担して実践していかないと到底できるものではないと思っています。決して悲観する必要はないと思いますが、危機感を持って現場主義で取り組んでいただきたいと思います。私も市民としてのそれなりの責務を果たしていきたいと思っております。

**【議長（会長）】**

将来に向けて、この計画を実現させていくということで力強いコメント、ありがとうございました。

**【黒川委員】**

審議会に参加し、皆様のご意見を拝聴させていただきまして、本当に勉強になりました。ありがとうございました。今日、答申された内容の通りに基本構想が実施され、基本計画、実施計画も今年度中に作成されると思いますが、スピード感を持って推進していただきたいと思います。私も、この経験を生かして地域のまちづくりに励みたいと思います。

**【中畔委員】**

平均寿命に対して健康寿命が大切という意見を述べてきました。私も70歳を超え、何とか元気で介護老人施設で25年ボランティアを続けています。高齢者がボランティア活動に参加しやすい社会を作ることが、今後、超高齢者社会を活力あるものにするためにも大切だと思います。高齢者についても、社会を支えるべき対象として経験や知識を持つ貴重な社会的資産ととらえることが必要かと感じます。生涯現役として生きがいあふれた生活を営む活動寿命を伸ばす取り組みをしてほしいと思います。元気に働き、地域に貢献していく人が主役の地域社会を築いていくことが地方創生の鍵をにぎることになると思います。今後共よろしくお願ひします。

**【議長（会長）】**

ありがとうございました。健康寿命と合わせて、さらに活動寿命という良い言葉をいただきました。第1部会の農野部会長からお言葉をいただきたいと思います。

**【農野部会長】**

第1部会は教育・福祉という、暮らしや日常生活に密接な議論が行われました。また、議論の中では、市民から行政まで全市を挙げて取り組まなければならないということを感じながら議論をさせていただきました。地域の中において私たちの暮らしを考える時、3つのマネジメントが必要だとうかがっています。一つは日々のサポートを誰がどのように支えていくかということ、次にリスクのマネジメント、寝たきりになると、全身の機能が低下していきます。例えば、廃用性症候群というリスクに対して、誰がどのように関わるか、私たちの暮らしは実に包括的なものを含んでいて、それをどのような形で実現するのかということが今地域で問われていると思います。箱もの人材を見直していく必要があるのではないかと、箱ものではコンビニから公共施設まで、人材については小学生から後期高齢者まで、そして市民のボランティアから専門職まで、そういうものを紡ぎながら地域の中でどのように支えていくかという、仕組みづくりが行政に求められていて、それが大きなテーマになっていると思います。大学も大事な地域の資源ですので、河内長野市も当然考えていかなければならない、そんなことを考えながら市民の方々と議論させていただき、とてもよい勉強をさせていただきました。

**【議長（会長）】**

3つのマネジメントというコメントでございました。それでは、都市・環境・経済の第2部会の、まず幸山委員にコメントをいただきます。よろしくをお願いします。

**【幸山委員】**

まず、審議会についての感想ですが、活発な意見が出て、良い審議ができたと思っています。良い審議ができるには、良い準備が必要になります。この大変な作業を伴う準備をしっかりきちんといただきました事務局の皆様に厚くお礼申し上げます。

もう一点、今後に向けての意見ですが、私は今まで10か所ほどに住んできました。河内長野市が他市と比べてどうなのか、一言で言いますと、環境の良いまちです。豊かな自然、人がきれいだということです。今後については、自分にできる範囲で河内長野市と関わりを持って、よりよいまちにしたいと思っています。

**【議長（会長）】**

これからは、住む人が、住む場所を選択していく時代で、住んでみたいとか住み続けたい河内長野という発言をいただいたと思います。ありがとうございました。

**【渋谷委員】**

審議会を通じての感想は、幸山委員と同じかもしれませんが、難問が山積している中、委員の皆様から貴重な意見が多く出され、感心し、非常に勉強になりました。今後に向けての意見としては、もう難しいことは止めましょう。「ふれあい・つながり・やさしさ」が重要で、人にやさしければ、かなりの部分は解決するのではないかと感じています。やさしい言葉でつながりながら市民一人ひとりがやさしい対応をしましょう、やさしくつながりましょうということで、かなりの部分は解決するという期待を持っております。大きな課題ですが、これでやれるのではないかと感じています。

**【議長（会長）】**

「ふれあい・つながり・やさしさ」まさにこれから生きていく方向性だと思います。ありがとうございました。

**【森脇委員】**

この基本構想に基づいて実施計画が作成されることとなりますが、実施計画に当たっては市民にとって自分の住んでいる所がどのようになるのか知りたいということです。夢のような絵であってはならないという気がします。自分たちの生活が実際にどのようになるのか、改善されるのかを市民は知りたがっていると思います。拠点のエリア内に、あるいは近い所に住んでいる方にとっては取り残されることはないと思いますが、エリアから遠く離れたところに住んでおられる人に光を当てるような実施計画の作成をお願いしたいと思います。

**【議長（会長）】**

途中でも出ていましたけれど、ネットワークを絶対忘れないようにというご指摘だと思います。ありがとうございました。それでは第2部の加藤部会長、よろしくお祈りします。

**【加藤部会長】**

委員の皆さんが河内長野のことを思う気持ちが強く、たくさんの議論ができました。これは河内長野市の持っている資源といいますか、理念にもありますが、まず「ひと」が資源であると、行政の対応も含めて改めて感じました。会議の中での印象としては、人口が減少し、税収も減っていく中でも行政サービスは維持していくということで、皆さん危機感をお持ちです。これからどうなっていくのだろうという中で、具体的な提案や自分は何ができるのかを強く意識した会議だったということをご指摘させていただきたいと思います。部会では都市機能のあり方、産業振興について議論しましたが、ネットワーク型コンパクトシティということで、おそらく造語だと思いますが、非常にユニークな考え方だと思っています。都市計画専門の先生が2人おられ、議論を進めてきましたが、都市機能を集約した場合に周辺に住んでおられる方がどうかという心配が

議論として出ていました。それは生活圏という考え方で、多様な生活圏を活かすということによって、その後で集約できる機能は集約するということがネットワーク型コンパクトシティの概念として出ています。産業振興については豊かな自然をビジネスとしてどう活かしていくかなど、従来の産業振興だけに留まらず、豊かな自然を様々な形で生かせるようにするため、行政の機能的連携を高めながら是非これを多面的に実現してもらいたいと思います。

**【議長（会長）】**

ありがとうございました。有史以来、人口減少にはじめて遭遇する中で、将来をどう描くのかというのは、突きつけられた大きな課題ですが、ある一定の議論ができたのだと思います。

それでは、協働・行財政ということを主に議論いただきました第3部会の、公募委員の堀委員からよろしくをお願いします。

**【堀委員】**

本当に真剣に意見交換できたと思います。市の事務局その他職員の方も私たちの意見に柔軟に応じていただいて、良い内容のものができたと思っています。みんなで真剣に考えた計画なので、10年後にはこれが実現されていないといけないと思います。是非達成したいと思います。それには、まず、市に押し付けるのではなくて、市民一人ひとりが自分の問題だと思って市の職員と協力してやっていかないといけないと改めて感じています。一方、市の対応も、もう少しというところもあり、より真剣に対応いただくことで、さらに進めていくことができるのではないかと思います。

**【議長（会長）】**

我々がどういう行動をすべきかというご発言をいただいたと思います。ありがとうございました。続きまして、水谷委員をお願いします。

**【水谷委員】**

ここに参加させていただきまして、一つ一つの意見に対して丁寧に質疑して意見を闘わせたことで、一人ひとりの考えたことを尊重した審議につながったのだと思います。もう一点は、分かりやすい総合計画ということで言葉一つ選ぶのでも、見たら分かるということを大切にしてくれたと思います。26ページの基本イメージがなかなかうまくできているなと思います。言葉自体はむずかしいけれども、イメージとしては分かりやすいと思います。この樹をいきいきと生かすためには、水分や養分が必要です。その中で市民である私たちは水分、養分を定期的に提供することにより、この樹がより豊かな実りにつなげていくということが必要であると感じました。とても勉強になりました。

**【議長（会長）】**

ありがとうございます。それでは公募委員で最後になりましたが、村上委員、よろしくお願ひします。

#### 【村上委員】

一年間この審議会に参加させていただきまして、一市民として得がたい体験をさせていただき、ありがたく思っています。この間、河内長野市の現在ある課題、将来への対応など多方面な審議に多少なりとも参画できたことをありがたく思っております。本日答申された基本構想が、今後10年、河内長野市に何が求められているのかということが細かく書かれています。本答申に込められた我々の真意を十分にご理解いただき、常に前向きに積極的に市民が住んで楽しい、市民が住みたい、そういうまちづくりに取り組んでいただきたいと思います。私個人としては小学校区のまちづくり会を通して市民としてなすべきことをやっていきたいと思ひます。最後になりますが、この一年間お付き合いいただきました会長、各委員の皆さん、事務局の皆様方にこの場を借りてお礼を申し上げます。どうもありがとうございました。

#### 【議長（会長）】

やはり実現に向けての自分自身の取り組みといったお話でした。どうもありがとうございました。最後になりましたが、第3部会を取りまとめていただきました戸谷部会長よろしくお願ひします。

#### 【戸谷部会長】

第3部会は、協働・行財政というテーマで議論させていただきました。個人的には、こうして市民と一緒に仕事をするのは初めてでして、貴重な体験をさせていただいたと思っております。最初はあまり意見が出ないかなと思ひましたが、何のことはない、どんどん意見が出まして「途中で打ち切りましょう」とお願ひしたほどの活発なご意見をいただきました。それだけ皆様のまちづくりへの熱い思いを感じました。行財政というのはどこかに必ず痛みを伴うもので、行政と市民の協働が必要だと思ひます。ぜひ、この計画を協働によって実現していただきたいと思ひます。

#### 【議長（会長）】

今後に向けてということで力強いお言葉をたくさんいただきました。私も一言。参加いただいた皆様方が自分の住んでいるまちへの愛着とそれに対する誇りはすでにお持ちだと感じ、非常に感心しました。そういう中で、悪いところを突き合いするのではなく、良いところを発見して、それをどのようにしていこうかという建設的な意見交換ができたというのは、非常に大きなことと思ひます。もう一点、10年前も協力させていただきましたが、10年前も協働といいながら総合計画は行政が責任を持ってやるべきという意見のニュアンスだったと思ひますが、今日は、市民と行政、あるいは企業も含めて、河内長野に関係するすべての人々の協働の目標であり指針を示

している、それに向かって各々がどういう役割をしないとイケないのかという意見をいただいたわけです。これは非常に大きな10年間の進歩で、まさに協働という形でつながっているということを感じさせていただきました。我々は、共生という言葉をよく使いますが、純粋な共生というのは自分の命を維持するために相手の協力は不可欠だと、お互い不可欠だと感じるのが共生の概念です。そういうことで言うと、まさに行政と市民との関係性は、お互いがお互いにいないと壊れる、生活が維持できない、そんな関係性に育ってきているのではないかということでも力強く受け止めさせていただきました。審議会の全体の進行を務めさせていただきましたが、非常に気持ちよく勉強しながら務めることができました。ひとえにご参画いただきました委員の皆さん、並びに事務局の方々のご努力だと思いますので、感謝申し上げます、私のコメントにしたいと思います。どうもありがとうございました。それでは、委員の思いを聞いていただいておりますので、市長から今後に向けてあるいは今日の感想も含めてお言葉をいただければと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

#### 【市長】

一年間の議論を通して、多くの皆様の創意、工夫がこの基本構想案に詰まっていると感じました。中身について非常に重く受け止めさせていただいております。また、一年間に渡って皆様から出されました様々な意見が職員を通じて私の方にも届いていますし、これから先、この案をしっかりと練り上げて皆様のご意向に沿う形で総合計画を作ってまいりたいと思います。絵に書いた餅では何ものりません。10年後の河内長野にしっかりと備えてまいりたいと考えています。昨年の9月にこの審議会が始まり、私も挨拶をさせていただいて、60周年の年でございましたので、温故知新という話をさせていただいたのを覚えております。この総合計画につきましては、温故知新ということで、河内長野が歩んでまいりました、引き継いでいくべき素晴らしい点をしっかりと見つめ、また反省すべき点はしっかりと分析し、この現在をしっかりと考え、次の世代に自信を持ってつないでいけるように仕上げていきたいと考えております。

増田会長はじめ各委員の先生方ありがとうございました。また、議会の皆様ありがとうございました。各団体の代表の皆様方、大変ご苦労いただきましてありがとうございました。感謝申し上げます。先ほど一人ひとりコメントをいただきました公募の市民の皆様、ありがとうございました。「みんなでいっしょにつくるまち」というのを、2期目の任期の最初に掲げさせていただきましたが、そのことがしっかりと根付いて、皆様方のご意見に迎えられながら、また、もっと多くの方の声、ひとつひとつをつなぎながらこれからの行政を進めてまいりたいと思います。

日本全体が待ったなしの大きな改革をしなければならぬ大変な時代だと思っています。借金が1千兆円を超えていたり、東京一極集中が進み、出生率も低く、日本が滅びるのではないかと、そして、10年後には必要な介護を受けられない方が15万人も出るという数字も出ています。バランスを崩した国、崩壊の道を進んできたのではと思っています。そういう意味で、今回地方創生元年ということで、地方が頑張り、自分の足で立ち、そして活性化していかないとイケないということで、今真剣に考えているところですし、本市もそれ受け止め、河内長野でどう生活する

のかということがひとつの鍵になると思います。

一人ひとりの意見をうかがい、河内長野は人財のまちだと感じました。人材の材は材木の材ではなくて、財政の財、宝のまちであるところづくを感じているところでございます。皆様方からいただいた貴重なご意見をしっかり受け止めてこれからも進めていきたいと思っておりますし、どうぞ今後ともよろしくごお願い申し上げます。最後になります、本当に長い間、ご苦勞様でした。心から感謝の気持ちを述べまして、挨拶に替えさせていただきます。ありがとうございました。

**【議長（会長）】**

ありがとうございました。これを持ちまして、総合計画審議会を終了させていただきます。どうもありがとうございました。

→会場より拍手

**【緒方補佐】**

お疲れ様でした。事務連絡でございますが、前回の会議録の確認をよろしくお願いいたします。あわせて、本日の会議録につきましても、完成次第送付させていただきますので、届き次第ご確認をお願いします。ありがとうございました。

**【辻野部長】**

増田会長様、農野副会長様、そして委員の皆様方、本当にありがとうございました。先ほど会長様から市長に答申がなされまして、今回を持ちまして、審議会を終了することができました。事務局としまして、至らない点、多々あったと思いますが、熱心なご議論をいただきまして、無事今日を迎えることができました。ありがとうございました。以上を持ちまして、総合計画審議会を解散させていただきます。どうもありがとうございました。

→会場より拍手

以上